

TaKeFu SSH NEWS



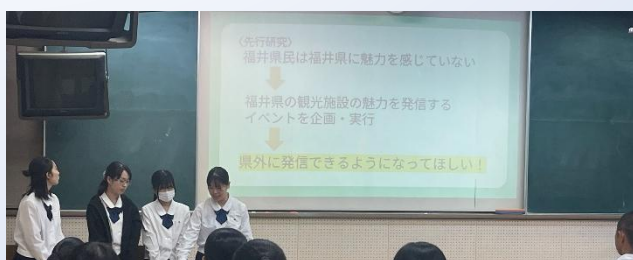
SSH
Super Science High school

福井県立武生高等学校
SSH 研究推進部
2026 年 6 月 25 日発行

SSH NEWS No.04

04 3年普通科「課題研究Ⅱ」発表会

6月10日(水)3・4限目に、3年普通科生徒による「課題研究Ⅱ」学年発表会が開催されました。企業・自治体毎に会場を設け、1年間の課題研究の成果を発表しました。発表会の最後に講師の方々からご講評をいただき、各会場で最も素晴らしいプレゼンテーションに対して「優秀班」も発表されました。この発表会で3年生の課題研究は一段落となり、今後は研究論文の作成に入ります。



【優秀班テーマ】

- ①山次製紙所「蕎麦殻×越前和紙で箸袋を作ろう！」
- ②福井鉄道「羽二重生地を用いたヒジャブの開発」
- ③アイシン福井・武生特殊鋼材「廃材を利用してアクセサリを作ろう」
- ④村田製作所「ドローンを用いた海難救助」
- ⑤越前指物工芸 上坂「木くずを使った工作体験」「木×カップ麺の蓋抑え」
- ⑥越前市総合政策部経営戦略室「ウォークラリー開催による県民への魅力発信」
- ⑦越前市観光誘客課「子ども食堂の正しい認知のための提案と展望」
- ⑧福井銀行「鯖江ココ!! ～ソウルフードをつかった食品開発は地域活性化につながるのか～」
- ⑨越前市長寿福祉課「特産品×高校生～ナツメの魅力を広めよう～」
- ⑩県庁探究学習サポーター「式部黒米を活用したオリジナル焼き鯖すしの開発」

【3年生の感想(抜粋)】

- ・発表を通して、研究はテーマに沿って論理的に進めることが重要だと感じた。斬新さだけでなく具体性や持続性も必要であり、先行研究に加えて現場の声を聞くことが研究を深めると学んだ。
- ・問いを設定した理由や先行研究の掘り下げが不足すると、研究内容が伝わりにくくなると感じた。また、聞き手を意識した発表方法や、多様な意見を取り入れながら研究を進めることの重要性を学んだ。
- ・他班の試行錯誤を重ねた研究や斬新な発想から多くの刺激を受けた。また、話し方やスライドの工夫によって聞き手を惹きつけられることを学び、今後の発表に生かしたいと感じた。

